

平成26年度 第13回柿崎区地域協議会 次第

日時：平成27年2月26日（木）午後5時30分

会場：柿崎地区公民館 3階 集会室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協 議

- ・平成27年度地域活動支援事業について(資料 No. 1)

4 報 告

- (1) 市からの報告(資料 No. 2-1～2-6、資料 No. 3)

- (2) 部会報告(資料 No. 4-1～4-3)

5 自主的に審議する事項について

6 その他

- ・平成26年度地域活動支援事業成果報告会

日時 平成27年3月 日() 午後 時 分から

会場 柿崎地区公民館 3階 集会室

- ・次回(第14回地域協議会)の開催日について

日時 平成27年3月 日() 午後 時 分から

会場 柿崎コミュニティプラザ 305・306・307会議室

7 閉会

平成27年度 柿崎区地域活動支援事業について【確認事項】

資料No. 1

平成27年2月26日

総務・地域振興グループ

1 今後のスケジュールについて

平成26年度		平成27年度 (案)	
① 説明会 (成果報告会終了後)	3月16日 (日)	① 説明会 (成果報告会終了後)	3月23日 (月)
② 事前相談	3月17日 (月)～31日 (月)	② 事前相談	3月16日 (月)～31日 (火)
③ 募集要項の配布	予算成立後	③ 募集要項の配布	予算成立後
④ 事業の募集期間	4月1日 (火)～25日 (金)	④ 事業の募集期間	4月1日 (水)～27日 (月)
		⑤ 提案書の配付	5月1日 (金)
		⑥ 質問の回収日	5月7日 (木)
		⑦ 提案団体に質問事項の送付	5月8日 (金)
⑤ プレゼンテーション	5月9日 (金)	⑧ プレゼンテーション	5月16日 (土)
		⑨ 意見交換会の実施	5月16日 (土)～22日 (金)
⑥ 採点票提出	5月13日 (火)	⑩ 採点票提出	5月下旬
⑦ 正副会長会議	5月20日 (火)		
⑧ 採択決定 (地域協議会)	5月23日 (金)	⑪ 採択決定 (地域協議会)	5月下旬

2 周知方法について

- ・地域協議会だより→3月15日号 (全戸配付)
- ・募集要項→4月1日号 (全戸配付)

3 その他



資料No.2-1

上観第4515号
平成27年2月16日

柿崎区地域協議会
会長 佐藤 健 様

上越市長 村山 秀幸
(産業観光部 観光振興課)

柿崎ハマナスふれあいセンターの廃止について (通知)

平成27年1月9日付けで答申のあった諮問第71号：柿崎ハマナスふれあいセンターの廃止について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

諮問のとおり柿崎ハマナスふれあいセンターを廃止することとし、平成27年上越市議会3月定例会に所要の条例案を提出します。



資料No. 2-2

上福第4455号
平成27年2月18日

柿崎区地域協議会
会長 佐藤 健 様

上越市長 村山 秀 幸
(健康福祉部福祉課)

かきざき福祉センターの管理の在り方について（通知）

平成27年1月28日付けで答申のあった諮問第72号：かきざき福祉センターの利用料金上限額の変更について及び、平成27年2月13日付けで答申のあった諮問第77号：かきざき福祉センターの管理運営方法の変更について下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

諮問のとおり、かきざき福祉センターの管理運営方法及び利用料金を変更することとし、平成27年上越市議会3月定例会に所要の条例案を提出します。

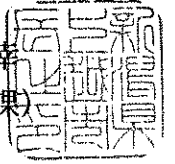


資料No. 2-3

上教体第783号
平成27年2月18日

柿崎区地域協議会
会長 佐藤 健 様

上越市長 村山 秀 幸
(上越市教育委員会 体育課)



上越市柿崎総合運動公園グラウンドの利用料金上限額の変更について（通知）

平成27年1月28日付けで答申のあった、諮問第73号上越市柿崎総合運動公園グラウンドの利用料金上限額の変更について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

諮問のとおり、上越市柿崎総合運動公園グラウンドの利用料金上限額を変更することとし、平成27年上越市議会3月定例会に所要の条例案を提出します。

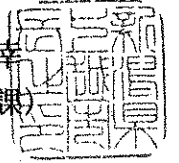


資料No.2-4

上教体第784号
平成27年2月18日

柿崎区地域協議会
会長 佐藤 健 様

上越市長 村山 秀 幸
(上越市教育委員会 体育課)



上越市柿崎総合運動公園野球場の利用料金上限額の変更について（通知）

平成27年1月28日付けで答申のあった、諮問第74号上越市柿崎総合運動公園野球場の利用料金上限額の変更について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

諮問のとおり、上越市柿崎総合運動公園野球場の利用料金上限額を変更することとし、平成27年上越市議会3月定例会に所要の条例案を提出します。

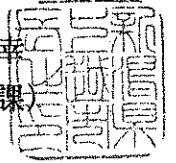


資料No 2-5

上教体第785号
平成27年2月18日

柿崎区地域協議会
会長 佐藤 健 様

上越市長 村山 秀 幸
(上越市教育委員会 体育課)



上越市柿崎総合体育館の利用料金上限額の変更について（通知）

平成27年1月28日付けで答申のあった、諮問第75号上越市柿崎総合体育館の利用料金上限額の変更について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

諮問のとおり、上越市柿崎総合体育館の利用料金上限額を変更することとし、平成27年上越市議会3月定例会に所要の条例案を提出します。

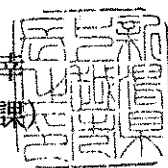


資料No. 2-6

上教体第786号
平成27年2月18日

柿崎区地域協議会
会長 佐藤 健 様

上越市長 村山 秀 幸
(上越市教育委員会 体育課)



上越市柿崎第一庭球コートの使用料の変更について（通知）

平成27年1月28日付けで答申のあった、諮問第76号上越市柿崎第一庭球コートの使用料の変更について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

諮問のとおり、上越市柿崎第一庭球コートの使用料を変更することとし、平成27年上越市議会3月定例会に所要の条例案を提出します。

平成27年度 柿崎区における主な事業など

事業	本庁課名	予算額(千円)
1 道路整備事業	道路課	168,720
<p>市民生活の安全、利便性の向上と生活環境の確保のため生活関連道路の改良舗装を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路測量設計（高寺馬正面線） ・橋梁架替（裏浜線浦浜橋） 		
2 公共下水道整備事業	下水道建設課	142,847
<p>生活環境整備のため汚水管渠整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三ツ屋浜地区汚水幹線工事 φ150~250mm L=740m <p>【公営企業事業】</p>		
3 柿崎区道路維持費	道路課	36,668
<p>破損した道路施設の修繕、道路肩の草刈りなど、通行に支障のないように市道の維持管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理委託 ・外側線修繕 ・小修繕工事 		
<p>交通安全に必要な箇所を改善することにより、歩行者や車の安全確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転落防止柵設置工事（高寺川井線 L=175m） <p>【交通安全対策事業】</p>		
4 橋梁維持費	道路課	27,238
<p>橋長2.0m以上の橋梁について、橋梁長寿命化計画に基づき、計画的な修繕を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業務委託（藤ノ木線 藤の木橋） ・実施設計業務委託（藤ノ木線 家ノ地橋） ・実施設計業務委託（角取下金原線 落合橋） ・橋梁修繕工事（上下浜線 丸山橋） 		
5 柿崎区公園管理費	都市整備課	718
<p>利用者が快適に利用できるように、あけぼの公園、住吉公園の維持管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園の維持管理 		
6 除雪費	道路課	57,177
<p>冬期間における市道の円滑な交通を確保するため、適切な除排雪作業を行い、車両や歩行者の通行が可能な状態を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸与除雪車維持管理費（貸与車両15台） ・市道除排雪委託（除雪延長128.38km） ・気象観測委託（3箇所） ・施設管理費等 		
7 消融雪施設管理費	道路課	1,532
<p>消雪パイプや流雪溝など消融雪施設の適切な維持管理を行い、車両や歩行者の通行が可能な状態を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消雪パイプ維持管理費（延長1.63km） ・消雪パイプ修繕 		

	事業	本庁課名	予算額(千円)
8	都市公園トイレ下水道接続工事	都市整備課	1,366
	<p>快適な利用空間の提供と水質保全を図るため、下水道接続工事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あけぼの公園トイレ下水道接続工事 他 		
9	中山間地域等活性化事業	農業振興課	33,365
	<p>生産性向上等が困難な中山間地域における農業の確立と地域資源の利活用等を通じての農業、農村の活性化を図るための集落共同活動の支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払交付金 水野集落協定はじめ10集落8協定 		
10	多面的機能支払交付金	農林水産整備課	19,363
	<p>農業の多面的機能を支える地域活動や、地域資源の質的向上を図る共同活動の支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払補助金 川西地区はじめ20活動組織 農地維持支払:30,286千円(7,571千円) 資源向上支払(共同活動):17,495千円(4,374千円) 資源向上支払(長寿命化活動):29,671千円(7,418千円) 合 計:77,452千円(19,363千円) <p>※金額はH26年度の交付金全体額。()は市補助金額</p>		
11	県営農地環境整備事業(水野・下牧地区)	農林水産整備課	10,500
	<p>区画整理、農道、用排水路整備を一体的に行い、中山間地域における営農条件の改善を図り、農業農村の活性化、定住化を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定事業期間:H26~H31 ・受益面積19ha、区画整理13ha、用排水施設4箇所、農地保全0.2ha ・H27事業費105,000千円(負担割合:国55、県32.5、市10、地元2.5) 		
12	頸北地区誘客イベント補助金	観光振興課	430
	<p>北陸新幹線開業に合わせて頸北地区(柿崎区・大潟区・吉川区・頸城区)が連携して取り組む誘客イベントへの支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頸北地区誘客イベント補助金 頸北地区誘客イベント実行委員会 		
13	米山登山道 下牧口休憩施設維持管理事業	観光振興課	369
	<p>平成26年度末に完成し、5月の米山山開きに併せてオープン予定。</p> <p>施設の清掃・見回り等管理は地元町内会へ委託予定。</p> <p>地元の地域振興や登山者との交流の場としての活用などを想定している。</p>		
14	米山山頂施設改修工事	観光振興課	16,802
	<p>厳しい自然環境と経年劣化により損傷が著しい米山山頂トイレの改修と山頂避難小屋の外壁修繕を行う。山頂トイレは既存のトイレを解体し、組立式のトイレブースを設置する。柏崎市との共同事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米山山頂トイレ改修工事 ・米山山頂避難小屋外壁修繕 		
15	マリンホテルハマナス施設改修工事	観光振興課	67,626
	<p>マリンホテルハマナスの開業から19年が経過し、温水ボイラーと冷温水発生機が老朽化しており改修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温水ボイラー改修工事監理業務委託 ・温水ボイラー改修工事 ・冷温水発生機更新工事 <p>サービスの質を向上し利用者の満足度を高めるためにレストランの改修を行う。平成27年度は設計業務を行い、平成28年度に改修工事を行う予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストラン改修工事設計業務委託 		

	事業	本庁課名	予算額(千円)
16	ハマナスふれあいセンター解体工事	観光振興課	23,183
	平成26年度末をもって施設を廃止することから施設を解体し、アスファルト舗装を行い駐車場として活用する。 ・ハマナスふれあいセンター解体工事		
17	かきざき福祉センター管理運営費	福祉課	5,220
	かきざき福祉センターの管理運営を指定管理方法から市の直営管理にする。		
18	地域支え合い事業	高齢者支援課	3,368
	介護保険制度の改正により、高齢者地域サロン等の居場所づくりを拡充し、65歳以上のすべての人が参加できる「通いの場」（すこやかサロン）を新たに設け、この運営を住民組織が担い、地域で介護予防に取り組む仕組みを作る。		
19	柿崎コミュニティプラザ管理運営費	自治・地域振興課	18,754
	上越市コミュニティプラザ条例に基づき、地域住民による自主的・自立的な地域づくり活動の拠点として利用できる施設の提供と適切な維持管理を行う。 ・施設：ホール、多目的ルーム、和室、会議室、キッズルーム、市民活動室		
20	柿崎区地域振興事業	自治・地域振興課	8,614
	<ul style="list-style-type: none"> ・お引き上げ商工まつり：2,541千円 親鸞聖人の遺徳を偲んで行われる伝統のおまつり。柿崎区の浄福寺境内や住吉町・旭町通りを中心に約150店もの露店が連なり、民謡流しやキャラクターショー等を開催。 ・柿崎区産業まつり：150千円 柿崎区内における農業者をはじめ林業・水産・商工業者が一堂に会して、地場製品の紹介と展示・即売や体験イベント等を開催。 ・柿崎時代夏まつり：1,694千円 上杉謙信の四天王の一人、柿崎和泉守景家公を称え開催される夏まつりとして、地域住民の手づくりによる山車、みこしパレードを繰り広げられるほか、各種イベントを開催。 ・地域資源活用等推進事業：628千円 若年層と墨田区との交流活動事業や、ふるさと資源発見ツアー等のまちづくり事業への補助金。 ・東京柿崎会等：101千円 東京柿崎会総会出席及び特産品販売 ・住民組織活動基盤整備補助金：3,500千円（限度額） 地域の活力向上につながる活動を行うために必要な備品を購入する費用の一部を補助する。 (対象者) 市内の地域自治区単位で活動し、市が委託する「地域支え合い事業」を継続して受託する住民組織 (補助対象経費) ①車輛購入に要する経費 ②パソコン等、備品本体に係る経費 		
21	町内会集会場設置等補助金	共生まちづくり課	1,002
	町内会館修繕にかかる補助金 3町内会 ・事業費 50万円以上 ・補助額 事業費の25% ・限度額 250万円		

その他(市全体事業)

	事業	本庁課名	予算額(千円)
22	プレミアム付き商品券発行事業(3月補正予算)	産業振興課	85,450
	消費税率の引上げ以降、市内経済が弱い動きが続いている中、商工団体等のプレミアム付き商品の発行に係る費用を助成することで、地域経済の活性化を図る。		※予算額は市全体分
23	暮らし応援商品券発行事業(3月補正予算)	福祉課・こども課	143,786
	低所得者及び子育て世帯への生活支援として商品券を配布する。		※予算額は市全体分
24	上越市住宅リフォーム促進事業(3月補正予算)	建築住宅課	121,862
	住宅環境の向上を図るため、市民が自己の居住する住宅等を施工業者によりリフォームする場合に、その経費の一部を補助する。		※予算額は市全体分
25	防犯灯LED化推進事業	防災危機管理課	164,397
	<ul style="list-style-type: none"> ・市が管理する防犯灯のLED化により、CO₂の排出量・電気使用料を削減を図る。 ・町内会が管理する防犯灯のLED化を促進するため、LED化に対する補助制度を創設する。 		※予算額は市全体分
26	上越市合併10周年事業費	総務管理課	6,166
	合併後10年の節目を迎え、地域自治の確立に向けたこれまでの歩みや取組を振り返るとともに、今後の地域づくりや自主自立のまちづくりへの機運を高める契機とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・記念式典(式典、記念講演) ・その他事業(物産展の開催、合併前上越市及び13区の市民活動等の発表) …柿崎区：黒川樽ばやし保存会出演 		※予算額は市全体分

報告書(総務・地域振興部会)

総務・地域振興部会
部会長 小出 優子

【出席者】

まちづくり振興会：木村総務部会長、佐藤総務部会副部会長、飯村地域振興部会長、
山澤地域振興部会副部会長、山川地域振興部会副部会長
地域協議会：佐藤会長、小池委員、小関委員、小出

【自己紹介、日頃思っていることについて】

- ・まちづくり振興会は活動しているが、地域協議会の活動が見えてこない。
- ・まちづくりカレンダーに各行事が掲載されてあるが、PR 不足ではないか。
- ・振興会への加入率 75%弱 2,500 世帯、会費の値上げより加入率をアップさせたい。
- ・住民へ地域の問題点を挙げてと言っても、なかなか意見が無い。いろんな所へ出向き、問題点を洗い出すことが必要ではないか。
- ・まちづくりに関して、若者の興味が無いように感じる。(七ヶ)・・・意識改革が必要である。
- ・地域協議会とは町会議員の代わりであり、問題があったら協議するところだと思っていた。
- ・まちづくり振興会は行事が多すぎないか。
- ・毎月の地域協議会を地域に出向いて開催する取り組みを予定している。
- ・地域の課題を吸い上げるという点では、町内会長と地域協議会の意見交換をしたらよいのではないか。
- ・まちづくりに関して、リーダーが必要ではないか。
- ・広報活動が足りないというが、これ以上は難しいと感じる。イベント等で実績を上げ、加入率増加を目指したい。
- ・地域協議会とまちづくり振興会が連携して、情報を補完していけばよいのではないか。
- ・ヴィジョン、人材、PR

【まとめ】

- ・第一回目はお互いの思っていることを出し合った。
- ・今後も、継続して協議していきたい。

【出席者】

まちづくり振興会：中村事務局長、平野副会長、小池産業振興部会長、渡辺産業振興部会副部会長

地域協議会：宮澤副会長、白井(秀)委員、白井(一)委員、渡邊委員、金子

※意見交換のテーマ

【柿崎の観光産業、まつり、イベントの現状と今後について】

産業振興部会で先回実施した農業、工業、商業経営者との勉強会及び意見交換会の内容の報告と、その時に出的意見や提案も参考にして意見交換をしました。

様々な意見や提案が出ましたが進行しながらの記録で漏れもあるかもしれませんが主な意見や提案について報告します。

※現状について

- ・毎年祭りやイベントを実施するが来場する人が固定化されて若い世代の参加が少ない。
- ・住民皆が盛り上がるような体制が整うことが理想だが現実はなかなか難しい。
- ・主催者側の悩みや不安など課題は多く、実際に役員や実行委員になりその現場に入って活動してみないとわからない面がたくさんある。
- ・今柿崎のまつりやイベントを開催するなかで中心的な役割を担っている人材は60～70歳代が多く高齢化が進んでおり次の世代の後継者育成が急務である。
- ・柿崎区の住民の特性かもしれないがイベント等に積極的に参加して少しでも柿崎を盛り上げようという気運が少し足りないように感じる。
- ・今はまだある程度の参加もあり成り立っているが数年後は現状維持も大変になると思う。

※今後について

- ・若い世代の取り込みを積極的に継続して行っていくことが大事。
- ・カリスマ性のある強力なリーダーの発掘も重要。
- ・各団体や組織が連携してオール柿崎で推進する仕組み作りも検討してみたらどうか
- ・小学生や中学生また高校生も含めイベントへの参加を促し盛り上げるのも一つの手法。
- ・各町内会、学校、保育園、各サークル等幅広く各団体や組織に働きかけ人数を割り当てて参加者を募ってはどうか
- ・今イベントなどで活発に活動している団体(16ピース)等を実働部隊の中心的な役割を担ってもらうよう要請したらどうか

※意見交換会を終えてのまとめ

- ・柿崎まちづくり振興会部員の皆さんが毎年どうすれば良いか試行錯誤を重ねながら奮闘し、尽力されている現状が生声を聴いて良く理解できた。
- ・今回はまちづくり振興会と地域協議会だったが他の団体とも連携し、また実際に活発な活動を実践している団体も取り込み、同じテーブルの上で後継者不足など諸課題について継続的に意見交換する機会を検討した方が良い。
- ・多くの意見や提案が出たがこれからの部会活動の糧にしていきたい。

報告書(教育・福祉部会)

教育・福祉部会
部会長 長井 洋一

【出席者】

まちづくり振興会：金子副会長、田中福祉部会長、小山福祉部会副部会長、加藤教育文化部会副部会長、吉村スポーツ部会長、大日方スポーツ部会副部会長
地域協議会：神岡副会長、薄波委員、木下委員、小山委員、長井

教育福祉部会が発足してからの活動内容を報告し、総合事務所保健師から情報提供いただき勉強会を行った「柿崎区の健康づくり」について意見交換しました。

健康づくりリーダー・食生活改善推進員・運動普及推進員が町内会から選出されていて保健師の健康講座を毎年行ったり、防災訓練など人が多く集まる機会に保健師から話をしてもらっている町内会があり参考にしたい。全体的には推進員の活動は低調な感じがする。健康づくりに熱心な人に特典があってもいいのではないか。

かきざきドームを利用して体力づくり・健康づくりをしている人にも特典を。

まちづくり振興会が行うシニアスポーツは参加者が多く盛況である。

生活習慣の改善や運動習慣を身に付けるには、継続が大切で続けることへのサポートが必要ではないか。健康づくりに財源がいる。

特定検診受診率が低いのはなぜか、調べるべきではないか。結果説明会に行くと、いつも同じ顔ぶれで、来ない人はいつも来ない。掛かりつけの医者があるので、受診しない人も多くいるのではないか。

県立柿崎病院の生き生き健康講座やまちづくり振興会の健康づくり講演会・社会福祉協議会・農協・商工会の健康教室など、健康づくりに取り組む団体がいくつかあり、催し物がかなりあるが、てんでんバラバラで方向性がない。まとめ役がいて、協力しあう体制づくりが必要ではないか。

「柿崎区健康づくり会議」のような組織を作り、柿崎区としての健康づくりビジョンを決め、計画—実行—総括を毎年繰り返し行うことが大切では。5年後・10年後を考えた行動でなければならないのでは。などの健康づくりに様々な意見をいただきました。

そのほかに、27年度から新たな介護支援事業が始まり、まちづくり振興会に係ることも想定され、高齢者支援で定期的にお茶飲み会を始めたところもあるなど、健康づくりも介護問題も地域全体で取り組まなければならないことを共有しあう意見交換になりました。